

読む・書く・考える
伝える力を身につける

2021

サマー・スクール



小学1年生

受講料・6,600円 全6日間 (本本校と神栖校で講習日が異なります)

本本校	前期	7月28・29・30日	後期	8月18・19・20日
神栖校	前期	8月4・5・6日	後期	8月25・26・27日

時間割	11:00 ~ 11:30	11:35 ~ 12:05
	(国語) 日記を書く・文章を読む	(算数) たし算とひき算の学習

※国語と算数の順番は入れかわることがあります。

申込について

在籍生は サマースクールは1年生指導の一部となっており、原則として室生は全員参加となっていますので、受講申し込みの必要はありません。サマー・スクール受講料6,600円と教材費1,000円は7月27日に指定口座より引き落としされます。ただし、講習日程中どうしても出席できない日のある場合には、添付の欠席届にお書き込みの上、7月17日(土)までに各担任宛ご提出下さい。9月分の授業料から相殺して割り引きをいたします。ただし、前記日限を過ぎたものに関しては割引の対象となりませんのでご了承下さい。

新規生は 受講料と教材費を添えて各スクール窓口にて申込手続きをお済ませ下さい。教材の取り寄せには1週間程度日数がかかります。

サマースクールに必要な教材	「夏期練成ゼミ」600円・国算プリント代 400円
---------------	---------------------------

ノーリツ学園

国語の学習のすすめ方

サマースクールの6日間では、前半の3日間で日記を書く練習をしていきます。後半の3日間は、夏休みの宿題でも取り組む文章読解について学習します。

日記は、夏休みの宿題となる学校も多いようです。日付、曜日、天気、今日の出来事の順番で、読む人に伝わるように書いていきます。4ヶ月間で学習してきた、言葉と言葉をつなぐ助詞を活用して日記が書けるようにしていきましょう。

文章読解は、与えられた文章をしっかりと読んで、内容を把握できるようにすることが大切です。速く読むのではなく、息継ぎの場所に注意して、内容が理解できるスピードで読むよ練習をしていきましょう。

1日目	漢数字を書く 一から十までの漢数字を正しい筆順で書いていきます。「百」以外はいずれも画数の少ない、かんたんな漢字ばかりです。これらを書くことで、上から下、中から外、左から右という筆順の基本にもなれていきます。
2日目	曜日を表す漢字（日～土） 「日・月・火・水・木・金・土」の書き順、音読みと訓読みを学習します。漢数字と曜日を表す漢字を組み合わせて、日記で使う日付や曜日を漢字で表すことが出来るようにしていきます。曜日以外にもいろいろな場面で目にする漢字なので、意識して探してみてください。
3日目	日記を書く 日記を書くことで、字の勉強ができる、文章をつくる練習になる、どんな日だったか思い返せる、明日はどんな一日にしたいか意識できるなどの効果が期待できます。毎日書くのは難しいですが、楽しいことがあったらその記録を残すつもりで書くようにしましょう。
4日目	漢数字を読む おしりに回や人や円をつけながら、漢字にいろいろな読み方(音や訓、音便など)のあることを学んでいきます。また身の回りのもの、くつやふく、イスやつくえ、コーヒークップやおさら、ネコやゾウなどの動物をなんとかぞえるか考えていきます。
5日目	手紙を読む 手紙を書く 手紙は「書いた手紙を誰に読んでもらうのか、何を伝えたいのか」を決めてから、「いつ、どこで、なにをしたのか」を書きます。自分の気持ちが相手に伝わるよう意識して書くことが重要です。ひらがなだけでなく、書けるようになった漢字を使うと読みやすくなります。授業では夏休みの思い出を手紙にして書いてみます。
6日目	

算数の学習のすすめ方

サマースクールの6日間では、前半3日間では、計算問題の演習により計算力を身につけ、後半3日間では文章題にチャレンジしていきます。2学期からは、2桁の計算を導入しますので、後期につながるように指導していきます。

夏休み中の宿題として「夏期練成ゼミ」を用意しています。7月3日(土)の授業で配付しますので、9月4日(土)の授業で先生に提出して下さい。

1日目	1桁+1桁のたし算（くり上がりなし） たくさんの問題にチャレンジして対応力を身につけます。「3+6」と「6+3」のように、数が入れかわっても答えが同じであることに気づいて覚えることも、重要なポイントとなります。
2日目	1桁-1桁のひき算 残りを求めるひき算によって、あるものからいくつか取ることが、ひき算で表されるといった認識を持てるように導入していきます。たし算同様に、指を使わずに答えを求めることができるように、たくさんの問題にチャレンジしていきます。
3日目	1桁+1桁のたし算（くり上がりあり） 10になる数を意識させて、ひき算で数を分解しながら答えを導き出すことができるように練習していきます。 8+6の場合 「8」と「2」で10になるので、「6」を「2」と「4」に分けます。 $8 + 6 = 8 + 2 + 4 = 14$ と考えます。
4日目 5日目	たし算とひき算の文章題 ①② 文章を読みながら、たし算をするのか、ひき算をするのか、キーワードとなる言葉(あわせて・ちがいで・もらって・あげると など)から式を立てて、単位を意識して答えを求める練習をしていきます。
6日目	1桁+1桁のたし算（まとめ）